

芦安の氷瀑

(トリコルネ、カモシカルンゼ)

日程：2008/2/2

メンバー：L河崎、齊藤（記）

今回ゲレンデにてアイスクライミングのトレーニングを行う事になった。ゲレンデという事もあり、よりクライミングテクニックを基本から集中的に身につける事が目的だ。

前日、芦安温泉の駐車場にて前夜泊。当日朝、芦安温泉より少し車を走らせ林道終点に車を止める。川沿いに30分程歩き、初めの目的地「トリコルネ」に到着。初めて見る「トリコルネ」に少々引き気味の私「こんなに高い滝登れるだろうか？しかも結構立っている。」不安に思いながらもスタンバイ。河崎さんがリードで登りトップロープをかけてもらう。30m以上あると思われ、上へ行く程、垂直の部分が多くなる。落ち口より伸びる最上部が核心だろう。しかも、高さがあるだけに、スタミナが丁度切れる辺り。私には、トップロープ無しには、考えられない。河崎さんが下りて来て、いよいよ私の番に。緊張しながらクライミング開始。開始早々テンションをかけてしまう。アックスのピックとアイゼンの前爪に意識を集中させ登り始める。登るにしたがい、腕の筋肉が張り始める。やっとの思いで登りきる。休憩をいれつつ、何本か登る。慣れてくるとなかなか楽しい。軽く昼食を摂り、10分程歩き「カモシカルンゼ」へ。多少、傾斜は寝ているがバラエティーに富んだルートだ。リードにチャレンジしてみる事に。登り始めて、順調に高さをかせぎ、3本目のスクリューを打ち終え、ヌンチャクをかけクリップしようとした瞬間滑り落ちてしまった。河崎さんのビレイで止めてもらったが、気をつけねばならないと、実感する。気を引き締め直し登り返す。核心部手前で確保用の支点を

作り、セカンドのビレイに移る。河崎さんに登って来てもらい、つるべ式でそのまま、もう1ピッチ登ってもらう。河崎さんの姿が見えなくなり、なおもロープが伸びていく。しばらくすると、ビレイ解除の合図。準備を終えてクライミング開始。小振りながら完全なバーチカル部分を越えて、しばらく登るともう一段バーチカルを。何とか登りきると河崎さんの待つ支点到着する。ここまでが、F1でF4までであるらしい。ちょっとしたミニルートといった感じだ。時間もいい時間になったという事でここから懸垂で下降する事する。今回はカモシカルンゼのF1までであったが、クライミングを終え、「今日は1日登りまくったぞ。」という様な満足感がえられた。トリコルネの迫力の高さカモシカルンゼのバラエティーに富んだルートとお得感たっぷりの場所であった。アプローチの短さも魅力だ。この日は私達のパーティー以外に遅れて2パーティー入って来たが、かちあう事も無く楽しむ事が出来た。これでまた、ますます、アイスクライミングの魅力にはまってしまった。しかし、今シーズン、後、何回出来るだろうか？「もう少し、春がこなればいいのにな。」なんて思ってしまった。

